

必要な撮影範囲・地上解像度に応じて、航空機・高度・センサを選択して頂けます。

代表的な撮影方法は下の2つです。

- ・セスナ機による航測カメラでの撮影
- ・小型ヘリによる中判カメラでの撮影

地上解像度とは、デジタル画像1画素の一边が示す地上での距離です。

たとえば地上解像度 10cm/pixel とは、1ピクセルの大きさが地上の 10cm 四方に相当するという意味になります。

縮尺何分の1で印刷したいのか、モニタ上で何かを判読するのか、その目的に応じて必要な地上解像度は変わってきます。

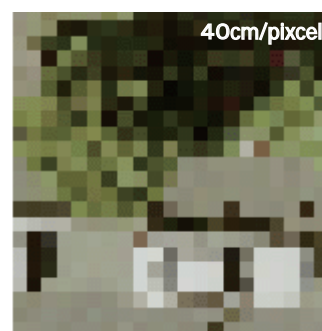
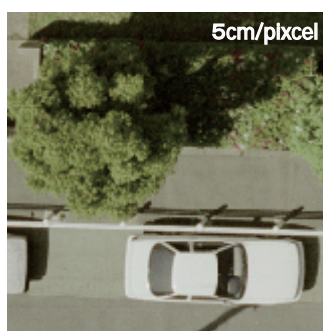
セスナ機&航測カメラによる撮影

セスナに航測カメラを搭載し、撮影を行う場合です。航測カメラは 23cm×23cm ネガフィルムを使用します。撮影範囲が広い場合に適しています。オルソ幾何補正の精度も高くなります。

撮影縮尺	1/2500	1/5000	1/10000	1/20000
撮影高度 (ft (m))	1250 (380)	2500 (760)	5000 (1530)	10000 (3050)
撮影画角 (m)※1	500×500	1000×1000	2000×2000	4000×4000
地上解像度 (cm/pixel)	5	10	20	40
印刷許容縮尺 (300dpi)※2	1/600	1/1200	1/2500	1/5000
画面表示許容縮尺 (96dpi)※2	1/200	1/400	1/750	1/1500

表中の計算はスキャン解像度を 1270dpi に設定しています。

地上解像度ごとのサンプル画像



小型ヘリ&中判カメラによる撮影

小型ヘリに中判カメラを搭載し、撮影を行う場合です。中判カメラは 6cm×4.5cm のポジまたはネガフィルムを使用します。撮影範囲が狭いピンポイント撮影の場合、非常に迅速かつ安価に撮影ができます。

撮影縮尺	1/6700	1/20000	1/33500
撮影高度 (ft (m))	1000 (300)	3000 (900)	5000 (1530)
撮影画角 (m)※1	340×250	1000×750	1700×1250
地上解像度 (cm/pixel)	8.5	25.5	43
印刷許容縮尺 (300dpi)※2	1/1000	1/3000	1/5000
画面表示許容縮尺 (96dpi)※2	1/350	1/1000	1/1600

表中の計算はスキャン解像度を 2000dpi に設定しています。

※1 地形、後作業等の影響を考慮し、計算値の 9 割程度にしています。山林部ではこれより少なくなることもあります。

※2 これ以上拡大した場合、人によっては画像が荒いと感じられる値です。

※補足：林野庁や国土地理院によって5年周期で全国撮影される空中写真は、平野部 1/8000 ～、林野関係 1/20000 の撮影縮尺です。また代表的な衛星でいえば、LANDSAT が 30m、IKONOS が 1m、QuickBird が 60 ～ 70cm の地上解像度です。



スカイマップ株式会社 URL : <http://www.skymap.co.jp> E-mail : skm@skymap.co.jp

本社 〒595-0072 大阪府泉大津市松之浜町 2-20-10
TEL 0725-21-8000 FAX 0725-21-8881

関東営業所 〒270-1165 千葉県我孫子市並木 5-2-19
TEL 04-7165-5050 FAX 04-7165-5051